

闘虎

No. 8 Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙
平成18年 秋季号



邑楽の空からメキシコの空へ！

上武洋次郎杯邑楽町少年レスリング大会

11月19日（日）、邑楽町体育館において「上武洋次郎杯邑楽町少年少女レスリング大会」が行われた。第2回となる同大会だが、邑楽ジュニア保護者会や邑楽町協会、邑楽町役場、県協会などの団結力により、2回目とは思えない充実した大会となった。試合でも、地元・邑楽ジュニアから4選手（写真右から高橋拓也、高橋幸太、石岩寛鷹、五月女敬太）が優勝、上武杯に華を添えた。上武洋次郎さんが、メキシコ五輪（昭和43年）で金メダルを獲得したときに記念として作った歌「メキシコの空」が開会式で邑楽ジュニアにより熱唱されたが、上武杯に参加した子供たちの中から、世界の空へ羽ばたく選手が育つことを期待したい。

※優勝者はP3に掲載。

クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

第8回 前橋パレイストラ



子供たちの主体性を重視
心身調和のとれた成長を

すっかり陽が落ち、学生たちの姿が消えた群大キャンパス。落ち葉を踏みしめながら暗い銀杏並木を歩いていくと、煌々と灯が点り、子供たちの元気な声が響く建物がある。「前橋パレイストラ」の練習場にたどり着くことができ、心にも灯が点りました。昭和58年あかぎ国体の熱い思いを継承してこうと、県都にクラブが誕生。パレイストラとは、ギリシャ語で「レスリング場」という意味で、転じて青少年の心身を育てる教育の場にしていくと、柳川益美さんが命名し発足、現在に至っています。パレイストラは、試合には年に一度（小学生総体）しか参加しないという、ジュニアレスリング隆盛の昨今では極めて異彩を放つクラブ。「子供たちにはいろいろなスポーツを経験させたい」という方針です。クラブOBにはレスリングだけでなく、教育界、医学界、経済界などあらゆる分野で活躍する人が育っています。指導スタッフは、柳川益美さんに美藤さん、育広さん、小林希さん、藪中さんに加え、群大生たち。この日も練習後の大学生が、レスリングの楽しさを再確認するかのよう、子供たちと汗を流していました。■練習日時 毎週火曜日、午後6時～7時30分・群馬大学

SCHEDULE

■館林市スポーツ少年団
クラブ交流大会
1月8日（月）
館林市城沼総合体育館

■天皇杯全日本
レスリング選手権大会
1月26日（金）～28日（日）
東京・駒沢公園体育館

■関東高校選抜
レスリング大会
2月3日（土）・4日（日）
足利市民体育館

■関東甲信越
少年レスリング大会
2月25日（日）
館林市城沼総合体育館



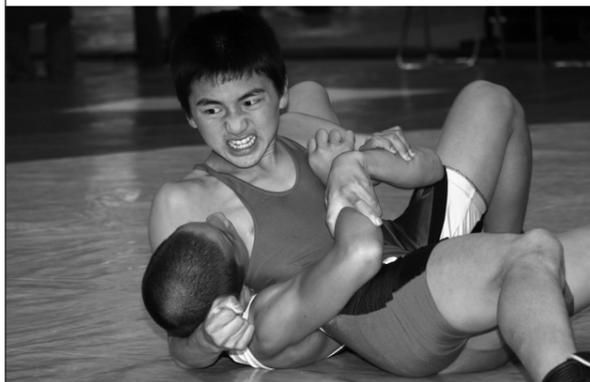
多摩シーレスリング
（思い出の一片）
船越利行さん（千代田町・39歳）

□この写真は昭和59年、私が西邑楽高校2年のとき。京都・奈良の修学旅行での一枚です。右から岡田利幸、中本隆設、私、保足泰広。みんな同級生というか一緒に修羅場をくぐってきた戦友です。この写真も「朝練習」として奈良公園の周りを走っていたところ。楽しいはずの修学旅行でさえ、レスリング部は練習です。でも、普通の高校生が経験しないことばかりやってきたからこそ、強く思い出が残っているのだと思います。毎年の新年会で、いまだに高校時代の話で盛り上がり、話は尽きません。当時は怖い存在だった金子博先生とも一緒に呑む日が来るとは、想像もしていませんでした。校舎で会うという先生、道場では鬼でした。そんな私も今では指導者です。レスリングがあったからこそ私の私。恩返し、の気持ちを持って子供たちに接し、指導させていただいています。

畑本顕司鋭く復活！2大会連続優勝！！

群馬県小学生総体

11月5日(日)、館林市城沼総合体育館において「第30回群馬県小学生総体レスリング競技会」が行われた。常連の東毛地区のクラブに前橋パレイストラを加え、県内クラブが唯一勢ぞろいする同大会。県内大会の優勝者の顔ぶれは、だいたいお馴染みとなっている中で、目を見張る活躍を見せたのが、小学5〜6年45kg級に出場したおたススポーツ学校のエース・畑本顕司。畑本は、体調の都合で3月以来戦線から遠ざかっていたが、9月から練習を再開して、



得意のケサ固めで押える畑本顕司 (写真は上武杯)

本人の強い意志により8ヶ月ぶりに参加した同大会で、試合を重ねるごとに実戦の勘を取り戻し見事優勝。大物振りを見せつけた。さらに畑本は、2週間後に行われた上武洋次郎杯でも、決勝で霞ヶ浦クラブの選手をフオールで破り優勝。「顕司は、ブランクがありながらよく戦った。体の反応がよく、セコンドの指示どおり動ける選手」と長島正彦コーチが評する。

- 優勝者は次のとおり。
- 【小学5〜6年】◇30kg級 増山郁人(千代田) ◇34kg級 木村安里(同) ◇39kg級 後藤良弥(大間々)
 - ◇45kg級 畑本顕司(おたス)
 - ◇51kg級 藪塚明登(大間々)
 - 【小学3〜4年】◇24kg級 小島彩暉(同) ◇28kg級 戸ヶ崎海渡(館林)
 - ◇33kg級 佐々木拓海(太田)
 - ◇39kg級 木村優太(千代田)
 - ◇42kg級 大川魁生(邑楽)
 - ◇42kg級 浜岡佑帆(伊勢崎)
 - 【小学1〜2年】◇20kg級 高橋幸太(邑楽)
 - ◇24kg級 栗原零(千代田)
 - ◇28kg級 加藤雅巳(館林)
 - ◇28kg級 田部井祐太(邑楽)
 - 【幼年】◇17kg級 藤生乙葉(大間々)
 - ◇21kg級 神藤俊(邑楽)
 - ◇21kg級 石川弘人(同)

館高が団体戦を制す！

激戦74*は福田翼V！

群馬県高校レスリング新人大会

11月4・5日、城沼総合体育館において「群馬県高校レスリング新人大会兼関東選抜県予選」が行われた。この大会は、2月の関東選抜(足利市)の予選を兼ね(4位までが出場権獲得)、それが全国選抜につながるため、選手は気合十分。団体戦では館林高校が優勝を飾り、県1位として関東に臨むことになった。個人戦では、上位を東毛勢が占める中、富実高の福田翼が一人気を吐き優勝。まだ1年生だけに、今後が楽しみな選手である。神山(太商)と富塚(関学)のアジアカデット組は危なげなく優勝。その富塚とチビッコ時代からのライバル鹿沼(西邑楽)が優勝し、いよいよ頭角を現してきた。

- 団体戦の順位と個人戦の優勝者は次のとおり。
- 【団体戦】①館林高校 ②前橋西高校 ③富岡実業高校
 - 【個人戦】◇50kg級 神山直人(太商) ◇55kg級 染谷篤志(館林)
 - ◇60kg級 鹿沼正史(西邑楽)
 - ◇66kg級 富塚拓也(関学) ◇74kg級 福田翼(富実)
 - ◇84kg級 田村悠佑(館林) ◇96kg級 中里一也(館林) ◇120kg級 阿部雅幸(館商工)

レスクイーン



千代田ジュニアレスリングクラブ 八山沙樹さん(中1)

レスリングを始めたのは小3です。私のおじいちゃんが内田会長(千代田レスリング協会)と知り合いで、千代田ジュニアに勧められました。練習は予想以上にきつく感じましたが、あきらめなくなかったので続けています。始めは勝てなかったけど、勝つ喜びを知って、今は楽しいと感じています。レスリングをやっているよかったです。ほかのクラブで仲のいい人は、有李(寺田・太田倶楽部)と優菜(石岩・邑楽ジュニア)です。目標は、のんちゃん(金子和・千代田ジュニア)に勝つことです！何年かかってもあきらめません！

地元千代田が大活躍！

全国王者トリオ完勝！

千代田近接少年レスリング大会

12月2日(土)、千代田町総合体育館において「第12回千代田町近接少年レスリング大会」が行われた。この大会は、かなり広範囲からクラブを呼び集めているため、レベルの高いことで定評のある大会。その中で、地元・千代田ジュニアの選手が地力を発揮。全中王者・木村政貴、栗原駿、全少4タイムスチャンピオンの木村安里らは、失点ゼロの完全優勝。全国王者の強さを見せつけた。

- 優勝者は次のとおり。
- 【中学生男子の部】◇53kg級 池田圭介(館林) ◇73kg級 木村政貴

新星・大谷和馬優勝！

松島匠の健闘も光る！

群馬県中学生レスリング選手権大会

千代田近接大会と同日、「第30回群馬県中学生レスリング選手権大会」が兼ねて行われた。千代田近接大会

- 優勝者は次のとおり。
- 【千代田】◇110kg級 栗原駿(同)
 - 【中学生女子の部】◇42kg級 金子和(同)
 - 【小学5〜6年女子】◇34kg級 木村安里(同) ◇45kg級 柴崎仁沙(館林)
 - 【小学3〜4年女子】◇45kg級 井上真央(明和)
 - 【幼年】◇26kg級 石川弘人(邑楽) ◇26kg級 小林奏音(同)

久保田 学選手

(西邑楽高校2年)



闘虎の「GOODぐんまの新鮮レスラー」の取材ですね？いつも読んでるから分かります(笑)。自分も柔道出身です。高校では違う格闘技をやりたくてレスリング部に入りました。柔道と違って掴むところがないので、技より体力が必要な競技です。目標はインターハイ、国体出場、そして上位。そのために館高の田村や中里に勝つ！将来は川合先生のように強くなりたいです。

成年は4人が銅獲得！

少年は屈辱的大惨敗！

兵庫のじぎく国体

10月1〜4日、兵庫県稲名川町文化体育館において「第61回国民体育大会」が行われた。成年フリースタイルでは、館高出身・大川弘毅(神

- 優勝者は次のとおり。
- 【男子】◇38kg級 五月女敬太(邑楽) ◇42kg級 金子佐(千代田)
 - ◇47kg級 大谷和馬(同) ◇53kg級 池田圭介(館林) ◇59kg級 亀山晃寛(千代田) ◇66kg級 橋口光太郎(館林) ◇73kg級 木村政貴(千代田) ◇110kg級 栗原駿(同)
 - 【女子】◇38kg級 八山沙樹(同) ◇42kg級 金子和(同) ◇47kg級 横山莉加(館林)

奈川大4年)が健闘し、第3位に入賞、県警で働きながらレスリングに打ち込む山本知史(西邑楽)山梨学院大)も殊勲の銅を獲得した。入賞者は次のとおり(数字は順位)。

- 【成年フリースタイル】◇55kg級 ③大川弘毅(神奈川大4年) ◇96kg級 ③米山祥嗣(KIPOWER)
- 【成年グレコローマン】◇66kg級 ③松本隆太郎(日体大3年) ◇84kg級 ③山本知史(群馬県警)

- 上武洋次郎杯邑楽町少年レスリング大会優勝者
- 【中学生男子】◇34kg級 五月女敬太(邑楽) ◇41kg級 金子佐(千代田) ◇68kg級 木村政貴(同)
 - 【中学生女子】◇44kg級 金子和(同)
 - 【小学5〜6年男子】◇34kg級 寺田光輝(太田) ◇45kg級 畑本顕司(おたス) ◇51kg級 高橋拓也(邑楽) ◇51kg級 藪塚明登(大間々)
 - 【小学5〜6年女子】◇32kg級 大関蘭(おたス) ◇36kg級 木村安里(千代田) ◇48kg級 柴崎仁沙(館林)
 - 【小学3〜4年】◇24kg級 小島彩暉(大間々) ◇42kg級 木村優太(千代田) ◇42kg級 石岩寛鷹(邑楽)
 - 【小学1〜2年】◇20kg級 高橋幸太(同) ◇17kg級 戸ヶ崎桃香(館林)